

虹

2023.9.26

この「校長室だより～燦燦～」を読んでくださっている皆さんは、野田中学校のホームページにアクセスしていただいているものと思う。トップページには、それはそれは見事な虹の写真が出てくる。校舎と体育館を優しく包むような虹である。

この写真は、保護者の方からメールでいただいた。うれしかった。すぐにホームページに上げようと思った。それまで、一番上にあった校舎の絵は、その下になった。この絵は、ある生徒から中学校を卒業するときいただいたものである。何だかいい味が出ている。すぐにホームページに載せたいと思った。絵の作者は、現在高校2年生である。弟さんが、中学3年生にいる。

いつだったか、8月下旬頃だと記憶しているが、何気なく夕方のテレビを見ていたら、視聴者からの投稿ということで、野田中学校にかかる虹の写真が紹介されていた。もしや、同じ保護者の方だろうか。虹の撮影ポイントを熟知しているような気がした。学校が、虹に守られているかのような写真だった。

この鮮やかな虹の写真は、ホームページだけではおさまらなかった。教務主任の先生が、拡大したものを昇降口前と校長室前に掲示してくれた。タイトルは、「野田中学校に架かる虹」だった。このコーナーは、これで終わらなかった。2学年主任の先生が、きれいな空を写真に収めてくれた。すると、また教務主任の先生が、拡大したものを掲示してくれた。タイトルは、「野田中学校から見た夏空」だった。虹と空がそろった。次のテーマは何だろうか。

虹の写真をご提供いただいた保護者の方にお会いしたかった。ぜひともお礼が言いたかった。あるとき、たまたま玄関前でお会いできた。車から降りてくる方がいた。「○○○○の父です」「あっ、虹の写真の」「校長先生にお会いしたかったんです」「私もです」と言って握手を交わした。

私にとって、「虹」は特別なものである。長男が生まれる際には、虹がつく名前を考えていたほどである。結局、家人と相談の上、虹ではなく夢になったのだが。空には、きれいなものがたくさんある。中でも、虹の存在感は特別である。虹が出ると、なぜうれしくなるのだろうか。どうして、あんなにきれいなのだろうか。

昔、まだ子どもの頃だったが、虹に向かって自転車をこいだことがある。どこまで行っても、虹に追いつくことはないとわかっている。だが、本当だろうか、実証実験をしたくなかった。全く虹に近づくことはないのだが、妙に楽しかった。近づきそうで、なかなか近づけない。すぐ目の前にあるのに。ばかばかしいことかもしれないが、それがおもしろい。

野田中学校のトップページを飾る写真として、「野田中学校に架かる虹」は最高一枚である。改めて、ご提供いただいた保護者の方に感謝したい。